

Sketch paya paya

DOJIN
R18
成人向け

18歳未満の
購入・閲覧禁止

payapaya

B5 44sheets

SEESITE MADE IN JAPAN

006629 2024 1013114106



めそたね先生
舌鼓

『実演!!保健体育』「オヤやちんちん」



ずみ先生
絶酸

『クソガキと新米家庭教師』「ヒーローコンプレックス」

イラスト+対談記事収録! 合同フルカラーイラストブック!

Sketch Pāyā Pāyā



DOJIN
R18
成人向け

18歳未満の
購入・閲覧禁止

payapaya

85 44sheets

MADE IN PAPA

006629 2024 1013114106



Caution

To the patrons of our work

注意事則 致购买本书的各位

This is a work of fiction.

All names, characters, organisations, places, events and incidents are the product of the authors' imagination.

Any resemblance to actual persons is purely coincidental.

Contents of this work are protected under copyright laws, and all rights are reserved by Osouzaiya/Keitonomori.

Regarding the works produced by this circle, the following actions are strictly forbidden.

- **Unauthorised use, redistribution, reselling (including online auctions and brokerage, etc.).**
- **Unauthorised uploading, alternation, duplication, reproducing, digitalising, adaptation, translation.**
- **Collecting, duplicating, processing of the contents and using the data to train generative AI, etc.**
- **Publication and selling of derivative works created by generative AI, etc.**
- **Other actions that may unfairly damage current and potential future profits.**

Publication, selling, and other uses of images created based on others' art style and publications, including those produced by generative AIs, will be considered as a copyright violation.

It is a crime to upload others' publications onto the internet without permission.

According to law, it is punishable by imprisonment up to 10 (ten) years or fines up to 10 (ten) million yen, or both.

Even if the contents are uploaded to servers oversea, Japanese laws will apply if the uploaded contents are intended for Japanese users, in addition to other circumstances.

When copyright violation is discovered, compensation (10,000 yen per page, 5,000 yen per view, 2,000 yen per day) will be demanded from the violator in addition to the immediate removal of the contents and other actions to stop further violation.

The use of the cover art is allowed only when posting about your purchases and when introducing or advertising the works.

本书为虚构作品。登场人物、团体、地点、事件等若有雷同，纯属巧合。本书内容受著作权法保护，一切权利属Osouzaiya/Keitonomori所有。

严禁针对本社团的作品做出以下行为：

- 盗用、二次发行、转卖(包括线上拍卖及代购)。
- 擅自转载、更改、影印、复制、电子化、改编、翻译。
- 以作为生成式AI的训练材料使用为目的的收集、复制、加工。
- 发布及贩卖生成式AI制作的二次创作物。
- 其他对于当下的利益以及未来潜在的利益产生不利的行为。

不论是否使用了生成式AI，发布和贩卖基于他人的著作制成的雷同作品以及其他不当使用均视为侵犯著作权的行为。

擅自将他人的著作上传至互联网是犯罪行为。依法律规定，违反者最高可处10年徒刑或一千万日元罚金，或两者并处。

如内容被认为是面向日本人用户，即便使用海外服务器日本法律也会适用。

侵害著作权的行为一经发现，我们会要求立即删除及采取其他停止侵权的措施，并索取赔偿金(每页一万日元，每次阅览五千日元，上传日起每日两千日元)。

仅有作为购买报告或介绍作品使用时可以自由使用作品的封面。

Warning

To those who are reading pirated versions of this work

警告 致盗版读者

It is a crime to knowingly download artworks from pirated sources. According to law, it is punishable by imprisonment up to 2 (two) years or fines up to 2 (two) million yen, or both.

明知是盗版但依然下载作品是犯罪行为。依法律规定，违反者最高可处两年徒刑或两百万日元罚金，或两者并处。

If any contradiction or difference exists between Japanese and English versions of this disclaimer, the Japanese version is prioritised under all circumstances.

如本文日中两版间有不同或相悖之处，在所有情况下均以日语版内容为准。

パヤパヤより読者の皆様へご報告

謹啓 清秋の候、読者の皆様におかれましてはますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

平素は格別のお引き立てを賜り厚くお礼申し上げます。

私共、よしぎつくねとうーるはこの度お互いのキャラクターを執筆したイラスト本を完成致しました事をご報告させていただきます。

〈毛糸の森 うーる〉

つくねさんの描かれるキャラクターはどの子もキャラ造詣が本当に細かいですね…それでいて現実的で。創作の中で語られる生々しくリアリティのある描写は流石としか言えません。今回のイラスト集は、合同サークルパヤパヤの記念すべき第一号の同人誌です。少しでもつくねさんのキャラクターの魅力を引き出せるように頑張りました。是非ご覧ください。

〈オソウザイヤ よしぎつくね〉

うーるさんの横に並べる絵なんだから綺麗な線を引いて丁寧に色を置かないと粗さが目立ってしまう…と気合いを入れてみましたが空回るばかりで全然無理でした。いつも通りのつくねです。

Skebして貰ったような気分です。

それでも一生懸命描いてみたので読み飛ばさずに少しでもパヤパヤを感じてもらえたら嬉しいです。

未だ未熟な二人ではございますが、今後とも応援、ご支援の程よろしくお願い申し上げます。

シヨタ
謹白

2024年10月13日



Table of contents

うるつくスケッチ	06
制作工程紹介	19
寄稿(お茶)	24
うるつく茶封談	26



ムラムラ湊君とそれを後ろから眺めるキッズ達。
野球ボールにここまで力入れなくても良くないか？
後ろが寂しくて気付いたら沢山描いていました。

毎度おなじみ坊ちゃんと、
突然現れた謎の存在Xに身体
を乗っ取られ、今や我々の心
にのみ存在しているツイッ
ターくん(概念)。
ピーッ！ツイッターです！
えっちなのはダメです！凍結
しますよ！
うるせえお前がえっちな
なるんだよ!!

制裁を!

Twitter
に



健全眼鏡イラスト。大阪の悪ガキ2人……って
感じがしますね。コウキくんは頭悪そうにし
たいなと思うって3Dめがねにしました。
カズキくんの顔を何度も直しました。
下書きが良くてもペン入れ中盤で失速しがち
です。



カズコウフ●ラ。
寄稿で描いたコウちゃんが
フ●ラされていたので
今回は逆を描きたいなと…。
普段大人しめな髪型と黒髪
以外滅多に描かないので、
コウキ君はいつも苦戦します。
逆にカズキ君は1番僕の描く
男の子に近いですね。



野球少年の湊くん。
先輩の毒牙にまんまとかかってしまいました。
可哀そうですね…。かわいいです。

女マネがいる気配もない男ばかりの部活に
ちいかわな男の子が入部してきたら、
そりゃあみんな構いなくなっちゃいますよね。
なのでぜんが湊くんが悪いんでしょうね。

湊くん、先輩たちに「男になれよ」的なことを
言われながら色々されてそうなんですけど、
男になる前にメスにされてそんな気もする。

こころが2つある～。





アキカン×かけざんの5人です。一番時間がかかりました。
最初1Pにギュッと集合していたんですが、全身描いてるし
見開きでもいいかな!?と思い直前に配置し直しました。
だからここに謎の空間があるんですね。





『こんなお仕事聞いてない!!』から、
"かけざん"の3人です。
本編では散々な目に遭っていますが、
パフォーマンス中の彼らはきっと輝いてい
るんだろうなあと思いながら描いた絵です。
背景もお気に入り。



「おれのせんせー」からリョータくんです。
一番最後に仕上げたイラスト。本当に難しかった〜…。
授業前のワンシーンのようなイメージです。
プールアイテムで遊ばせてみました。良い笑顔。



『落日バッドエンド』から、東佑助くん。
高〇生ですか…。これぐらいの体格の
少年(?)は普段描かないのですが、
思ったよりも筆が乗りました。
下着越しの勃起描写、直接ポロンと
見せるよりも奥ゆかしくて好きです。



『落日バッドエンド』から、廣瀬灯くん。
ツリ目とホクロがとっても愛らしいですね…えっちなだ。
本編を履修されているみなさんにおかれましては
周知の事実と思いますが、この顔は…
「その気があるってことだよな？」



◀ラフ

線画・下塗り▶

シャツのはだけ方がお気に入りです。
完成形では学ランや通学バッグも追加しました。



おにシ〇タで向かい合っている絵にしようと考えながら構図を練りました。情事5秒前、みたいな。
佑助くんの下着は本編でも一部しか公開されていなかったの、つくねさんに問い合わせたところ「地味目なやつ」と回答いただいたので、グレーのボクサーになりました。多分イ〇ンとか通販で買った安いやつ。

Umm...

▲表情変更前

佑助くんと表情が被ってしまったので口元を変更しました。
また、微妙な変化ですが、目元も少し変えています。

着衣差分▲

下書きの身体のラインが上手く描けたので、シャツやズボンを描く前に裸体を先に仕上げていました。ここで供養します。

灯くんは何度か顔を描き直しましたが、佑助くんはほぼ一発で絵が決まりました。実はシ〇タよりお兄さん描く方が得意なのかもしれない。



背景模索中▲

途中まではデザイン的な背景にしようとしていましたが、キャラクターの現実感が薄く感じたので、現行の背景(佑助くんの部屋)になりました。

KAKEZAN MAKING

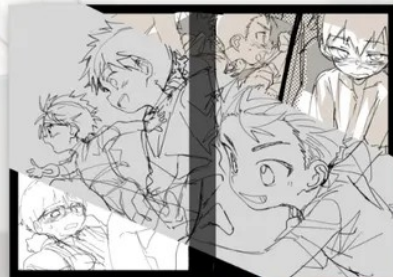


ラフ

画集の中で1枚は見開き絵を描こうと決めていたので、登場キャラが多く、ダイナミックな構図で描けそうな”かけざん”の3人を採用しました。
未知の世界に飛び込んでみよう！みたいな感じでキャラを配置してみました。
優心くんはリーダーなので真ん中に。

ラフ2・下書き

見開きの絵なので、絵の中心に顔が寄りすぎないように位置を調整します。
背景の余白部分に、メディアでは見せられない3人の”裏”の姿を散りばめる構成にしました。対比として、メインの絵の表情をハツラツとしたものに変更。絵の方向性が固まりました。



線画・下塗り

下書きをもとに線画を描き起こします。
アニメ塗りを軸に着色をする関係で、線画はこの時点でしっかりと描き込んでないと後々塗りづらいし、なにより気が済まないんですよ。
線画をするときは毎度結構ビリビリしてます。

着彩

どんどん塗りこんでいきます。普段の塗り方が割と簡素な仕上がりになりがちなので、つくねさんの絵と並べた時に自分の絵が浮かない様に塗りこみを強めていきます。実はこの3人、キャラクターごとにレイヤーを分けてるので、見えない部分もちゃんと描いてます。
運動靴をこの時描き直したのですが、むずかしかった…！



背景・仕上げ

本編の挿絵を参考に背景を完成させました。
それぞれのテーマカラーである信号機の配色を採用。彩度の高い色が背景にあることで、一気に絵のイメージが明るくなった気がしますね。
カラフルな色味に騙されず、目を凝らしてみると、裏ではちゃんと酷いことをされています。
全体の色味を調整したり、塗り残しなどの細かな部分を修正して完成です！



▲背景の元になったラフ。
コチラも見開き想定で描いたものですが、背景イラストとして転用することにしました。



▲背景イラスト全容

どうせあんまり見えないしなぁと思いつつ描いていましたが、
こうしてお見せすることが出来たのでしっかり描いた甲斐が
ありますね…。

つくねさんの絵柄に寄せるべく、いつも描くモノクロイラスト
よりも線数を多く、より荒々しくえっちになるよう頑張りました。
唯一本編で本番描写のある太陽くんをセンターに持って来る
ことで、より湿度の高い絵に仕上がったと思います。



MINATO MAKING



ラフ



線画・下塗り



着彩

光源をきちんと決めた絵にしたかったので、普段やらない影付きラフを作成しました。お腹が白く浮き出ますね。

野球部のユニフォームを画像検索で調べながら線画。普段描かないものを描くときは線画作業に時間をとられます。

ひたすら塗り込みます。人数が多いので塗り作業も結構ハードですが、画面が華やかになっていくので楽しいです。



修正・仕上げ



▼没ラフ

▲着彩時の画面から、全体的に淡くんの身体のフォルムと、表情を丸ごと書き直しました。また修正に伴い、ちんちんもパンツの中に引っ込めちゃいました。代わりに小さく TENT を張らせました。その他、泥汚れを追加したり、服の質感を高めたりなどいろいろ手を加えています。カラーラフの時点からところどころ変化はありますが、大まかな印象は変わらず完成まで仕上げられたと思います。



◀もうちょっと直接的な描写のあるラフも描いていたんですが、構図がつまらないと思い、3Dソフトでモデルを配置し、カメラをぐるぐる動かしながら構図やライティングを模索して現行の絵になりました。

▼画集の中でも最も早く描けたラフだったと思います。ツイッターくん(概念)のブリーフを両手で突き出しているこの制裁ポーズは、この2人で描くと決まった3秒後には思いついていました。ツイッターくん(概念)の初出が2年前で、且つ新規絵がその後描かれることはほぼ無かったため、この絵のためにキャラデザを新たに描き起こしていただきました。コチラも淡くんの絵と同様、着彩時から表情を全修正しています。

BOCCCHAN MAKING



ラフ



着彩



修正・仕上げ



塗りこみ・レイヤー効果

カンタ君の健康そうな肌色をなんとか再現できないのか…明るい色を残しつつ僕っぽい塗り込みも混ぜ合わせて…なんとかできました！完成！…いつも通りでは？

背景は最初赤だったんですけど表紙の色味に変えてみました。あとやっぱり上手くいってないと思ってアキカンとツイッター君は完成後に線画から描き直しましたね…JGARDEN帰宅後の話です。(計画性とは)

湊君もツイッターくんも同人誌出てないのに人気で嬉しい。

YAbathGIRU MAKING

お腹の凹凸とか骨の出張りの表現が苦手なので、全裸は着衣よりも時間がかかっている気がします。

お腹周りの影レイヤーは3〜4つありました。塗り込んでなじませて…を何度も繰り返し待ちに待ったツヤタイムです。つくねは白で飛ばして奥行きや立体感を出す作業が大好きなのです。ちゃんただけ後からいれるようにフォルダ分けしています。通常時差分も作ればよかったね…

MINATO MAKING



着彩

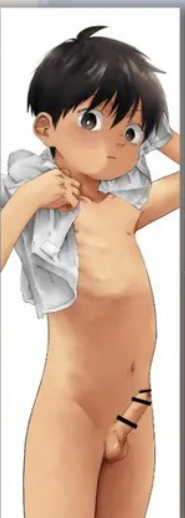
うーるキャラは同人誌からひたすらスポイト。ツイッター君は全く描いてなかったから手探りで。実験してみる本をコピペ、歪みツールでいいじ。ツヤと影入れてそれっぽくしてみる。

線画

縫い目を描き込みすぎている。野球は得意じゃないんです。カンタはもっと恥ずかしそうにしよう。ツイッター君は何か言いたそうにして…うーるさんは碇ゲ●ドウのままでええか。

ラフ

うしろはアキカンを入れよう。ツイッター君も入れるとなると下が寂しいな…せや！代理とやばすぎるの子と灯も小さく入れちゃおう!!で気付いたらこれ。誰が仕上げるのか？



KAZUKOU MAKING

フェラ！こんなところでフェラを…ああやらしい。最初は口の中に射精されて苦しそうな様子にしようかと思ったんですが…途中の必死な様子と、驚きと快感にひたる感じを表現したくなって直しました。ペン入れ中に顔を変えがちなんですね。



RYOTA MAKING

ペン入れ/線画

今回合同誌用のイラストを作るにあたってどれもレイヤー管理がずさん過ぎて泣きたくまりました。なぜ下描きの解説がないのかという下描きレイヤーを消し飛ばしてしまっただけなんですね。

差せい【下塗り】

脇と首周りの影を同じレイヤーに塗っています。良い感じだったからそのままにしたのかそれとも消すのが面倒だったのか。

乳首をここで仕上げていますね。我慢できなかったのでしょうか。ここ同人誌見ながら描いてます。

差せい【かげぬい】

タオルの柄をここで決めています。最初はチョコミント柄にしようと思っていたのですが女児感強くなっちゃったのでやめました。所々ドットを入れて遊んでみたりなどする。先生の足が黒い。脇に全神経を注いでいます。

仕上げ【レイヤー効果】

う〜ん暖色になりがち。濃くて赤味のある色を置くとなんだか安心します。

トイカメラ風の効果とレベル補正、グラデーションマップをかけて色調補正を施しました。要はぼかしたり、絵の上からいろんな色を重ねて鮮やかに見えるよう手を加えたということです。

淡い色も使ってみたんですが、抑えきれなくてつつい濃い色になってしまいます。



一写真背景について

イラストも漫画も、背景素材は基本3Dで自分で撮りに行った写真を使っています。そのまま使うと人物になじまなかったり粗い部分があるので必ず加筆をします。この手法はイチから背景を描かずに済んで楽だとは思いますが、採用した写真や3Dに負けないくらいに細かいキャラ絵が求められます。漫画の場合は1コマだけでなく、何ページにもわたってその背景素材の中でキャラを動かしカメラを回し続けなければいけません。つまり安易に手を出してはいけない作り方ということです。体力ある人は自力で描いた方が良いでしょう。絶対。

▼photoshop/CLIPSTUDIOでの加工後、明るくしてイラスト調に…したつもり



※ネットの写真素材を利用する場合は利用規約を必ず確認し、公共の建物内や立入禁止の場所に写真を撮りに行く場合は必ず許可を得てから撮影しましょう。

今回は水泳の授業中、プールサイドでやりとりする先生とリョータ君のシーンがあったのでそこを切り取ってみました。地獄のシャワー、腰洗い槽、洗眼器…いろいろ思い出してしまいますね。水泳は全然好きじゃなかったです。

▼完成品はいたずらっ子な雰囲気ですが、この無垢な笑顔も気に入ってます。

表情1



表情2



-KAZUKOH MAKING-



ラフ/下描き

バストアップで…眼鏡をかけてて何か上手い具合にふたりの個性が出せたらな…とあわよくば案を、隙があれば案をしたいというマインドから始まったイラストです。僕の苦手なコウキくん。同人誌片手に下書きを進める。今回どちらかというとカズキ君の方に時間がかかっています。斜め横からコチラを見つめるアングル、左目の位置、大きさや角度…一度迷うとしばらくさまよい続けてしまいます。コウキ君は最初サングラスでしたが3D眼鏡に変更。

下書きやラフは少し太めのブラシサイズでザクザク描き込むと同時に影の位置も決めていきます。



デザイン背景の制作

それっぽい背景を作る。当初は時間もないしデザイン背景くらいにしておこうねって話だったのに気付いたらうーるさん部屋の背景アリの絵作ってて裏切られました。メイキングページもここまで気合い入れるはずじゃなかったんですが!?(怒)

コウキくん味のある濃いめのオレンジ色と対照的な水色でそれっぽく。画像素材とレイヤー効果を駆使します。よくデジタルイラストで聞くレイヤーというのは透明なフィルムのようなもので、それぞれに線や色、背景を分けて描いておくと後々修正が楽に行えます。ワンクリックでアンドウもできる。デジタル最高です。最終的には赤味のあるピンクが採用されていますがここではオレンジのまま紹介していきます。



ペン入れ/線画

表情が変わりました。カズキ君の方をもう少し悪っぽくしてなんだか治安の悪そうな雰囲気。コウキ君は真剣な顔で3D眼鏡かけててもう意味がよく分からなくなってきましたね。今の自分ならレンズにうっすらコウキ君の目を見せるかな～と思います。カズキ君、レンズ奥の輪郭に歪みが無いのでこれは伊達眼鏡ということなんだろうな。うん。

◀学ランの金ボタンは毎回資料を横目に描きます…。

着彩(下塗り作業)

二人とも学ランの色が違うのはなぜ…。線画が閉じていない箇所があったり粗い部分があるのでパケツ塗りとは逆に効率悪くなるかな～と思い自動選択で塗る範囲を作って色を置き、細かいところはブラシでヌリヌリします。もっと良いやり方があると思います。ここは塗り残しがないようにレイヤーごとにせせと塗りつぶす作業です。よく途中で飽きて全ての下塗りが終わる前に肌色の影を塗り始めてしまいます。全ての工程の中でここが一番つまらないかもしれません。二人の色は同人誌の表紙やいただいた資料から抽出しています。



着彩(塗り) + 仕上げ(ホワイト/レイヤー効果)

もっと濃くしたい!の気持ちで普段より高まって割と攻めた色合いになりました。黄色っぽいハイライトが良い役割を果たしているのではないのでしょうか。つくねには補色がどうか配色の細かい知識は一切ありません。

▼つくねは基本的に焼き込みカラーかオーバーレイしか使えません。



ざくざく塗ります。以前は濃い水彩感があったり厚塗りっぽく割と丁寧に塗っていましたが、塗り重ねた跡も味だろの精神で今はマーカーで素早く塗る方法に落ち着きました。色塗りが死ぬほど嫌いでしたが今はそこまで抵抗なくイラストが制作できます。アナログ過ぎずデジタル過ぎず、背伸びして綺麗に見せようとしなくなったのがプラスに転じたのかな～と思います。プラスだね?



レイヤー効果

影塗りこみ

下塗り

ペン入れ

ラフ/下描き



強弱があったり線で表現している部分の多い線画なのでアニメ塗りとは死ぬほど相性が悪いです。僕の場合はアナログのマーカーに近いブラシで何度も塗り重ねていきます。服や髪の毛の一番濃い部分は真っ黒です。体操ズボンを見ると結構よく分かるかなと思います。

お話の内容だったりキャラクターの描き方以外でも、こういった線の引き方や塗り方でも僕とうるさんは正反対な訳です。

手のポーズはハンドモデルや自撮りが多いですが、自撮りの場合は理想の骨格ではないのであくまでも参考程度です。靴などの小物、ズボンのゴム部分、服のしわは撮り貯めた写真や保存した参考資料を死ぬほど見ながら、分からない部分をなんとなくで描かないようにしています。

ペン入れ時に顔が変化しがちです。下描き通りに表情が描けた試しがありません。

▼線画レイヤーで髪の色を塗っているミス。
1マス戻る



ソフトはCLIPSTUDIO、液タブはCintiq pro24、左手デバイスは tour box Eliteを使用しています。
 着色…Tマーカー/Aマーカー/アナログ風アルコールマーカー/もにブラシ
 線画…シミペン(改)/Kペン/ひもだ丸ペン/アナログ風マーカー
 ブラシは全て自分好みに調整して使い分けています。真似してみてくださいね。



つくねは笑顔を描くのが苦手です。専門学生の頃に言われた「よく笑う人は普段から何の抵抗もなく笑顔が描ける」という講師の言葉が未だに心に刺さっています。



給食袋をぶら下げて良かったんですがベルトやズボン部分が隠れるのが嫌でやめました。学校に置いてきたということで…。ランドセルは3Dモデルを上手いこと配置します。LT変換して線画抽出すると3D感が強いので一から線を引いた後で写真を見ながら細部の縫い目や金具を描き込んでいきます。



もっと色々なカメラワークで動きのあるポーズを見せたらな〜と毎回完成後に嘆いては自分の引き出しに限界を感じています。飽き性なので差分も減ッッッ多に描きません。1つの絵に時間をかけられないという性質もうーるさんとの違いです。南無三。

Guest Illustrator

お茶



無理を言ってゲスト参加していただきました。
インタビューにご協力もいただき頭が上がりません。

character

『イマジカリターン』	須藤&西里	著：お茶
『やb a t hぎる!』	お風呂少年	著：うーる
『落日バッドエンド』	廣瀬 灯	著：つくね



うーるつくね茶対談

インタビュー……お茶



うーる



つくね



お茶

——何がきっかけでパヤパヤを始めようと思ったんですか？

うーる「きっかけ何でしたっけ。」

つくね「6月のほいパレの翌日に、ユニバで夜ご飯食べた後に決まった気がします。僕がフェス出ましようよって誘って、うーるさんが「じゃあ合同で」って振ってきました。」

うーる「作業通話中に盛り上がった流れだと思っただけどそんな前だったっけ…。ユニバが6月なのもなんか…記憶が怪しい。」

——フッフ。

うーる「Jケは出る予定だったけど、フェスも参加するとなると何出せるかな…って悩んで、前から合同サークルはやりたかったのでタイミング的に良いかなと。普通につくねさんを誘いたかったのがあります。ユニバでハイになってそのセッションで誘ったんでしょね。」

——やろうよ…ってね。

つくね「実際に動き始めたのはJケのちょっと前でした。パヤパヤって名前と初期のサークルカッただけ先に作って。Jケ終了後熱が冷めないうちに発表しちゃおうと計画していました。」

——えっとじゃあ2個目はあ…

うーる(笑)

——パヤパヤってどういう意味ですか？

うーる「ツイッターに書いた気がする。」

——ちょ…もう一回見ますわ…。

うーる「確かつくねさんのツイートを引用して僕が意味を答えたはずなんだけど、その当のつくねさんのアカウントが凍結されてしまっているから引用もさかのぼれないですね。」

つくね(笑)

うーる「毛が少なく、浮かれボンチ、エロいって意味合いがあった気がする。最初なんでパヤパヤに決めたんだしたっけ。」

——ツイート見つかんない…。

つくね「確かそうざい+毛糸の森で組み合わせようとして、羊関連でラムチョップが頭に浮かんで…。」

うーる「そこ結構大事なんだけど全然覚えてない…。」

つくね「特に深い意味を込めたわけではなく勢いで決めました。」

——なんかね…(検索しながら) 極上生徒会っていう謎のアニメの中のセリフで○○ちゃんと○○くんがパヤパヤしてたっていうのがあって、それが広い意味で性的行為を意味してたっぽいからね。

つくね「あーなるほど。」

うーる「そうですね。そうです。」

——なるほどね。

——サークルカットでうーるさんがハートしてて、つくねさんが手でグッ…って(グッドサインのこと)しているんですけど。これはうーる↓つくねを暗示しているということですか？

うーる「最後の質問がそれですか？」

——いや、これか思いついていなくて…3つくらい質問があったらあとは絵の感想とかで良いかなって…。

※対談開始数分前に質問を考えさせました。

うーる「いいですよ。お答えしましょう。」

つくね「お答えしましょう…?」

うーる「僕はつくねさんのことは好きですけどつくねさんはそうでもないらしくて。」

——あっ!! (煽り)

つくねさんはどうお考えで?

つくね「いや、うる茶という存在がすでに出来上がっているの…そこに自分がいたら邪魔だよなあって。」

——うる茶が持て囃されている雰囲気だったから自分は言い出せなかった。

つくね「ここに俺はいちやいけなんだ、このハートに応えてはいけないんだと…心苦しくキャンセルしました。」

「じゃあもうる茶が存在していなかったらハートをしていたと。」

つくね「そういう未来もあったかもしれないですね。」

うーる「残念ながらそうはならなかった。」

「最近うる茶もあんまり話してない。」

うーる「でも僕うる茶でもハートキャンセルされてるんですけど。」

「あ。」

うーる「それについてはどうお考えですか？」

「でもそれは多分だけハートをキャンセルしているポーズをやるうよって言われたから…。」

つくね「やらせじゃん。」

「それは本心ではない。」

うーる「何？どっちも本心じゃないのに僕のハートを断ったってこと？」

つくね「お茶」「うん。」

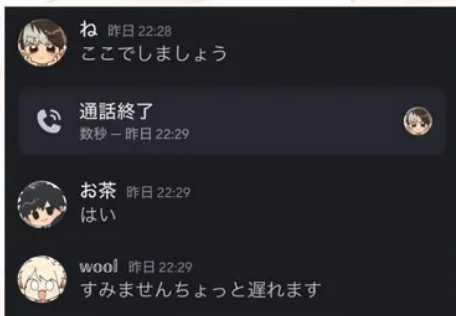
うーる「そんなあ。」

「笑」

うーる「パヤパヤは解散です。」



▼対談(22:30～)の指揮を執るつくねと遅刻宣言をするうーる



▼ハートキャンセルうる茶



つくね「うーるさんとお茶さんのパヤパヤがあるかもしれないのかなあ。」

うーる「うーるさんとお茶さんのパヤパヤが存在したらそれはもっとよく分かんないことになっちゃうよ。」

「笑 浮気でしょ。」

うーる「笑」

「不倫でしょ。」

うーる「酷い言われようだなあ。」

つくね「終わりです。」

Q 「うる茶」とは？

うーる、お茶の両名のカップリングを指す言葉。誰が言い始めたか、悪ノリで発生した。インターネットビジネスCP。



お茶「笑」

お茶「そういふこともありますわ。」

※正式名称は「やbathぎる!」です

せまくってる大戦犯。お前がエロいくせに何言ってるん

だってね、おこなんですよこっちは。」

つくね「はあ。」

うーる「坊ちゃんに制裁してもらいました。」

つくね「流石です。」

うーる「今思ったんですけどここまでツイッターの名前とかこの鳥全面に押し出しちゃっていいんですかね？」

つくね「ツイッターもうないから良くないですか？」

お茶「今はxですからね。鳥は凍結して異議申し立てした時にだけ姿を表す存在になっている。」

うーる「xに著作権は無いと。」

お茶「助けようのない一文字(?)」



つくね「これ3回くらい描き直した絵ですね。」

お茶「3回? 大変スギィ...」

うーる「最初に描いてたやつ見せてもらってたんですけど、可愛かったのにいつの間にか後半描き直してて何で? ってなりました。」

つくね「目とか大きく描いてみたんですけどね。うーるさんの描く男児っぽい細い体とか全然うまくいかなかった。」

うーる「僕とつくねさんの描く基本的な体型ってちょっと違いますよね。」



お茶「あー」

つくね「ですね。」

うーる「つくねさんのキャラはもちもちしてるというか肉感があるというか。僕のはちょっと頼りない感じ。細いシルエットで描きがちというか。すらっとしてますよね。」

つくね「そうそう...全体的に細くて骨張っているような。そこで差が出ますよね。うーるさんの絵に寄せると上手くいかないし自分流で描いてみるとそれはそれでなんか違う...ってなっちゃって、いい塩梅で描きたかったんですけどなかなか上手くいかず...バランス掴むのにも苦労しました。」



▲お茶さんに見せ忘れました。



お茶「これもエッチだねえ。」

うーる「エッチだ。」

お茶「毛生えてる絵あまり見ないから貴重ですね。」

新鮮だ。」

つくね「たしかに。」

うーる「つくねさんに毛を描かせた。」

お茶「やったね。エライですね。」

うーる「えへ。」

つくね「ここに描いたことが全てって感じたなあ。」

コウキくんの個性が強いから描くの大変だった。黒髪しか描いてこなかったんで...。前にお茶さんの千羽くんを描いたときも大変でしたね。」

うーる「あゝ。」

お茶「カップリング相手が真っ黒だから被らないようにしようかなって。」

うーる「いや分かります。並んだ時に同じ髪色が並ぶ」





と漫画にした時描きづらいかもって思っちゃうから…
色薄くしたり他の色つけがちです。」
つくね「もうええでしょう。全員黒髪で。」
うーる「笑。つくねさんはそれで上手くいってるから
すごいですよ。」
つくね「髪以外で差をつけられればいいでしょう。眉毛と
か目とか。」
お茶「差つけなくても髪の色だけ変えればね…。楽じ
やないですか。」
つくね「うるさいうるさい!」

つくね「これはエロ過ぎるんですわ。」
お茶「これ…光と影の使い方がトイストーリーのライ
ティング…」
うーる「トイストーリー!? (笑)」
つくね「どういうことですか…?」
お茶「なんかのインタビュでトイストーリーを作っ
てる人たちがライティングにこだわりました!! って言
って。」
ああ、映画作る人はこんなに考えるんだなあって思っ
た時と同じライトへのこだわりを感じます。」
うーる「顔に影入れてお腹に光当てたいなあと。」
お茶「足のところの影もすごいですね。」
うーる「モブも全部3Dで一度配置して、そこで設定
した光の当て方をそのまま使った感じです。一からは
無理。」
お茶「影が複雑すぎるので、まさか天才か? って思っ
て…」
うーる「天才になりたかったねえ。」
お茶「脳内がどっかおかしいって思っ…神かと思ひ
ました。」
つくね「3D使ってるって聞いて安心しました。
だからと言って真似できるものではないと思うんです
けど。」
うーる「参考元がないとこのライトの当て方は厳しい
ですね。3Dソフト仕様です。」
お茶「可愛いンゴねえ。」
うーる「最初は湊くんのチンチン出たんですけどね。
位置がおかしくなっちゃったから修正しました。」



つくね「なんとしても見せてやるって気概を感じまし
たね。」
うーる「布越し勃起でもええやろ! って思っ…こう
になりました。」
つくね「見えてない時のほうがエロかったりしますか
ら。」
お茶「今から出て来ますよ感がね。」
うーる「パンツで隠すことで奥ゆかしさを感じてもら
えればと。」
お茶「というか野球部の後頭部可愛すぎる。」
うーる「やったー。」
お茶「撫でたいね。…この子、湊(みなと) くんです
よね?」
つくね「はい。」
お茶「毎回漢字だけ頭に浮かぶけど読み方が分からな
くて、頑張っって名前を呼ぶのいつも回避してたんです
よね。」
つくね「笑」
うーる「これルビ振ったほうがいいのかな?」
お茶「いやそんなことまでしなくても…
自分だけだと思っ…」



お茶「砂の山にガーゼがあるね。」
 つくね「なんか…墓みたいになっちゃった。」
 うーる「遺留物が…。」
 つくね「カントくん大変だったなあ。寂しくてランドセルを後から背負わせたんですけど…それが間違っていた。」



うーる「すごいな。描いたものを削ることはあっても描き足すなんてことしないでしょ。ましてやランドセルなんて。」
 お茶「ランドセルが一番めんどくさいんだから。この砂遊びしてるとこのアクスタ欲しいですね。可愛い。」
 つくね「ヤッター。」
 お茶「写真撮られる時にちょっとピース曲がっちゃうやつ、あれなんでもなっちゃうんですかね?」
 つくね「それはお茶さんが実際ピースする時にこうなっちゃうってことですか?」
 お茶「なっちゃうこともあるし他の人がなってることもあるし。」
 うーる「タイミングじゃないですかね。」
 お茶「タイミングか。」
 つくね「…絵の話に戻すとちょっと曲がってるほうが好きですね。」
 お茶「ちよっとアホっぽくてね。」
 うーる「アホ(笑)」
 つくね「いや…アホかどうかは分かんないけれど(笑)」
 お茶「こんなに靴描くの大変じゃないですか?」
 つくね「めっちゃ大変ですよ。でも裸足にするわけにもいかないですし。」
 うーる「いや、毎回靴描き込んでで本当すごいですよねえ。」
 つくね「設定だとマジックテープだったんですけど間違えて紐ぐつにしてしまいました。」

▼スペース余りツイッターくん



お茶「よく見たら(優心くんの)紐、縦になってますね。」
 うーる「あー。」
 お茶「可愛いね。やっぱりアホだね。」



お茶「これすごい。」
 うーる「見開き絵を一つ入れたいなって思っていたので描きました。メイキングのページで色々書いたんですけど、原作ではこんなキラキラしてる場所は拝めなと思って。」
 つくね「絶対描かないですね。」



お茶「たしかに。」
 うーる「散々な目に遭っている彼らの輝かしいパフォーマンスとステージ上のキラキラした姿を描きたいかも…と思って明るめな絵を描きました。ステージの上かどうかは分かんないけど。」
 つくね「優しい。」
 お茶「優しい心。」
 うーる「うん。」
 お茶「でも背景も見たいから3人をオンオフさせてほしい。」
 つくね「分かる。」
 うーる「背景の絵は酷いもんですよ。(シチュが)これはつくねさんの挿絵を見ながら描きました。割とタッチも寄せてみたんですけど似なかったな。」
 ※背景のデータをチャットに貼る

お茶「おっ、来たでえ。ヤッター!!」
 つくね「うわ。」
 お茶「えー…最高なんですけどオォ。」
 つくね「もう原作越えだよ。」
 これ見ながら続き描きますね。」
 お茶「真ん中の黄色のところが…とてもすごいけど完成ではほとんど見えないの惜しいですね。」
 うーる「たしかに。なんかエッチなことしてるんだろうなどは感じるだろうけど、まさか行為中だなんて思わないですね。」
 お茶「素晴らしい。懐かしい。赤白帽子のつばに縫い目あったなあ。」
 うーる「これつくねさんに教えてもらいました。さすがだね。」
 お茶「お持ちなんですか?」
 つくね「小物はいっぱい保存した写真を見ながら描いてます。」
 お茶「誕生日プレゼントであげたい。ランドセルも買ったらいじゃないですか。」
 うーる「アマゾンにあるのかな。」
 お茶「ありそうですね。一番スタンダードなモデルが欲しい。」
 つくね「その辺の店でも年中売ってませんか?」
 うーる「夏休み…いや、GWとかがランドセル市場は一番動くんじゃないのかな。」
 お茶「気が早いねえ。」
 うーる「ランドセルは一年前とか半年前に決めるものじゃないのかな。」





お茶「今見たら一万円くらいでありますね。バオバブの願いとかって謎の名前のやつ…。」
 うーる「買ったんですか?」
 お茶「あったら便利ですよ。」
 うーる「なら買いましょ。」
 つくね「これ背負って海外行きましょ。」
 お茶「なんだこいつ!? っと思われちゃう。」
 うーる「ジャパニーズバッグ。」
 お茶「ジャパニーズスタンダードバッグ。」
 うーる「カジュアルバッグ。」
 お茶「脱線し過ぎてる気がする。」
 つくね「笑」
 お茶「アマゾンまで開き始めちゃったよ。次行きましょ。」

▼対談時ラフの状態でした。完成してエライ



つくね「これは今書き直してるところですね。おれのせんせーのリョータくん。」
 お茶「あー!! 可愛いラフ。」
 うーる「まーた書き直してるよ。」
 つくね「初期の絵を見ながら描いてたんですけどおにしょと※オンラインイベント『おにーさんとしょーねんと』で刷ったネッブリ見たらなんか違うかもって思ったので…。」
 うーる「よかったのに…。」
 つくね「背景は先生のこと考えながらしてる彼のカットを敷き詰めようかなと。」
 うーる「またなんかコストやばそうな…。」
 お茶「夜中描きながら終わらないくって言ってそうだな。」
 うーる「イライラしてうわああって言ってそう。」
 お茶「でペンギン※(スラローム)で遊ぶんでしょ。」

※作業通話アプリ「バラレル」で遊べるミニゲームのひとつ。つくねはワールドランク最上位「伝道者」の称号を得ている。

つくね「やりますけど何か。(庄)」
 お茶「先生は描かないんですか?」
 つくね「描きたいですね。後ろにちょこんと。」
 お茶「イエイ。」
 うーる「ラフで先生をいっぱい描いてくれていたことは知ってるんですけど、どうやら不採用だったみたいですね。」
 お茶「ええ…? 出しなよ!! (庄)」
 うーる「没イラストちゃんと供養してくださいよ。」
 つくね「次!」
 うーる／お茶「笑」



暑い…

いいなあ俺も入りたい…

先生見て犬かき先生ほら



お茶「えろすぎ。太ももがいい。太もも。」
つくね「エッチだなあ。」

うーる「エッチお兄さんだね。お兄さんって言っても高校生だけ。このぐらいの体型減多に描かないんですけど意外と筆が乗りましたね。」

つくね「普段お兄さんなんて描かないですもんね。」
うーる「描かないですね。シヨタはこの絵より頭身低いし、おにシヨタとして描く場合のお兄さんはもっと等身高いのがデフォなので、こういう中途半端な体型はなかなか描かない。」

つくね「なるほどなあ。」

お茶「デカければデカいほどね、いいですよ。」

お兄さんは。」

うーる「体格差を描こうとするとえぐいほどムキムキマッチョマンになってしまいますからね。機会があまりないです。」



お茶「でもこのぐらいの体型でも嬉しい気持ちで描けるから良いですね。嬉しい気持ちが続きます。」

うーる「華奢過ぎずガッチリ過ぎない普通体型、中肉中背くらいがちょうど良いです。」

つくね「お腹の奥行き、難しそうなのにちゃんと描いててすごい。シワがあつて。」

うーる「たしかにうまいかもしれない。」

お茶「股間の奥行きもすごい。」

うーる「うん。」

つくね「うん? (笑)」

うーる「デントにはロマンがあります。モロ見せより絶対エロいんだから。」

つくね「あー。これはちゃんと文字に起こさなきゃいけませんね。」

うーる「下着越しの勃起描写、サイコーです。」

お茶「良かね。」

つくね「ふあー。」

お茶「可愛い。」

足を畳んでるときの裏側の太もも好き。」

つくね「触りたい。」

お茶「触りたいっつ。」

うーる「笑」

つくね「背中側に回り込んで、後ろから手を回して太ももに触りたい。」

お茶「ええ? そんなエロいことして良いの!？」

うーる「そんなエッチなことを。」

つくね「え? したいと思いませんか?」

お茶「したいけどそこまで考えつかなかった。」

うーる「これはもうテキスト行きですね。」

つくね「なんですか?」

そんな急に僕が変態みたいな扱いして。」

お茶「いや……………そうでしょ。」

みたいなっていうか。(変態だよ)」

つくね「そんなあ。お茶さんは絶対こっち側だと思ってたのに。」

お茶「いやお茶さんは触りたいと言ったけど手を回して後ろからうなんて具体的なこと言ってないよ。」

つくね「分かるゝとか、僕も同じことと思ってましたゝっていう返事を待っていたのに。残念です。」

お茶「いやお茶さんは横からツンツンしたいなって思ってただけです。」

つくね「横からツンツンも変態じゃないですか。」

お茶「そりゃそうだけど。」

うーる「どっちもどっちでしょ。」

争点はなんですかこれ？」

お茶「どう触っても変態でしょ。」

つくね「笑笑」

お茶「詳しいところがちょっと変態過ぎたからつくねさんの勝ちですよ。」

つくね「勝ち…？勝ちか。勝ちなら良いか？」

お茶「変態勝ち。」

うーる「でもこの界限において変態であることはかるうじて名譽でしょ。」

つくね「界限の中ではまだいいけど社会性を持つ生き物としてはおしまいですよね。」

お茶「つくねさんはね、変態マスターとして…。」

うーる「変態マスターは本当に不名譽。」

お茶「変態マスターとしてね、これからもいっぱいイラストとか漫画描いていきましようね…。」

つくね「全然イラストの話してない。」

お茶「こんなにエロい絵を見ちゃうとみんな変態おじさんになっちゃうんだね。絵を描くときの技とかそういう話じゃなくて触りたいねえ良いねえとか…。」

うーる「ただのシヨタコンの会話じゃん。」

つくね「解説の文章いいですね。その気があるってことだよな…。」

うーる「これは原作から引用しましたね。」

お茶「たしかにその気がある顔かもしれない。でもお兄さんもね、その後ちゃんと…ね、もう少しあれだったら…ハッピーエンドだったかもしれない。落日ハッピーエンド。」

つくね「？なんて？？」

うーる「笑」

お茶「お兄さんがもう少しいい感じだったらハッピーだったのになって。」

うーる「家に連れ込んだ時点でもう…。」

お茶「やり返すんだ!!とかそういうアドバイスをしてあげたりとかね…。」

うーる「続きはあるんですか？」

つくね「ありますよ。考えてます。」

お茶「ヨシ！ヨシヨシ!!早く見たいねえ!!」

うーる「見たいねえ！早く描いて欲しいンゴ!!」

つくね「…………。(静寂)」

お茶「…あれっ!? (笑)」

つくね「うーる来年かなあ。」

少し先になりそうですね。」

うーる「来年まで生きていましようねえ。」



お茶「みんなはちゃんとモザイクがないように頑張っているの自分はいっかり…(チ●コ)描いたぜ!!っていう…感じですね。」

つくね「楽しい画面。」

うーる「欲張りセット。この構図描けるのお茶さんしかいないよ。こんな人体絡めさせるの無理でしょ。」

つくね「デッサン人形使ったんでしたっけ？」

お茶「そうです。お人形を絡めて無理やり。」

つくね「デッサン人形をこんな絡めさせるのも多分お茶さんしかいないですよ。」

こだわりのポイントはありますか？」

お茶「二人とも挿さってる場所が見えるようにしたくらいかな…。」

うーる「チンチンの欲張りセットですね。」

オチンチン警察が欲張りですって言って逮捕しに来ちゃいます。」

つくね「…？」

お茶「あと外だけどやばすぎるの子を全裸にさせたところですよ。」

うーる「ありがてえ。」

お茶「デッサン人形…だいぶ前に曲げすぎて腰割れちゃったんですね。」

うーる／つくね「笑笑笑」



毛糸の森

KEITO NO MORI



寝ている友人を
気持ちよくしてあげる本。(2019)



友だちと実験してみる本。前編
(2020)



友だちと実験してみる本。後編
(2021)



友だちと開発してみる本。
(2023)



おれのせんせー。
(2019)



やbathぎる！
(2024)



毛が生えへん！
(2022)



毛が生えへん！2
(2023)



毛が生えへん！3
(2024)

通 販

電 子 販 売



とらのあな



フロマージュ



Digiket



FANZA



BOOTH



少年 同人処 **オソウザイヤ**

Doujin Osozaiya | 創業令和二年



同人誌 紙書籍/電子各通販サイトで販売中



創作おとこのこアンソロジー
知恵と輪
Chie to Wa

下記イベントにて頒布予定!

つくね
ぶ茶
うーる
めそたね
イマツコ
ずみ
横山ひの
えーろく

2025
6.15
IN NAGOYA

おとこのこ
創作市

Boys themed Doujin fair!
produced by Tsukune
hosted by Boys-parade



初
ぼ
の
名
古
屋
開
催
!

あなたが創る
おとこのこを
お待ちしております!

Sketch Paya paya

2024年10月13日 ショタフェス17

著者 そうざいらムチョップパヤパヤ

毛糸の森/うーる
オソウザイヤ/よしざきつくね

連絡先 lit.link <https://lit.link/payapaya1111>
X @SouzaiLam

寄稿/取材協力 お茶
帯協力 ずみ めそたね



本書を無断で複製/複写、転載、web上での
中身の掲載、オークションやフリマアプリ
等へ出品する行為を一切禁じます。

そうざいらムチョップ
パヤパヤ
少年 同人誌 オソウザイヤ × 毛糸の森
Dojin Osouzaiya | 創発令和二年 KEITO NO MORI



006629 00410901016510



59104 03510 1013114106

PYPY017-S-FES-2024-1013

PY6629 ¥1000E

★★★★18歳以上から

定価：本体1200円



無断転載許しません。

下書きや制作秘話、コメントなども多数収録です。

にらめっこしながら一生懸命描いてみました。

お互いのキャラクターを、お互いの同人誌と

描き下ろしイラスト盛り沢山！

フィジカルでプリミティブで、
そして最もフェティッシュな
パヤパヤがそこに……。
毛糸の森×オソウザイヤ
合同カラーイラスト集!!



全編に渡り**眼福**に次ぐ**眼福**。

絵柄や作風の異なる2人が
ショタという1つの概念に向き合い、
それぞれの技量を
余すことなく発揮した**珠玉の一作**。
良い絵を見ると
視力が回復するとはよく言いますが、
この本を食い入るように読むことで
真っ当に視力が落ちるなら
それは**本望**まであります。

ずみ



イラスト11枚、
うるつく茶対談収録!!

対照的な作風ふたり

こだわったぷりの
合同誌!

製作過程の葛藤を

コミカルな文体で綴った

メイキング!

笑えるし、

完成絵がより薄くなります!

めそたわ

